

CBS350のSNMPv3共通オブジェクト識別子(OID)

目的

この記事の目的は、CBS350スイッチの一般的なSNMPv3オブジェクトID(OID)のリストを提供することです。

適用可能なデバイス

- CBS350スイッチ

はじめに

簡易ネットワーク管理プロトコル(SNMP)は、IPネットワーク上のデバイスの管理に使用されるインターネット標準プロトコルです。SNMPメッセージは、管理対象オブジェクトに関する情報の検査と通信に使用されます。SNMPは、管理情報ベース(MIB)を使用して、オブジェクト識別子(OID)を含む階層またはツリー構造のネームスペースに使用可能なオブジェクトを保存します。OIDは、SNMPを介して読み取りまたは設定が可能なMIB階層内の情報を識別します。

SNMPバージョン3機能は、ネットワーク上でデータパケットを認証および暗号化することにより、デバイスへのセキュアなアクセスを提供します。

この記事では、CBS350スイッチの一般的なSNMPv3 OIDのリストを示します。

SNMP OID

MIB オブジェクト 名	OID	値リスト	説明
システム説明	1.3.6.1.2.1.1. 1.0	DisplayString	システムの説明

entPhysicalSoftwareRev	1.3.6.1.2.1.4 7.1.1.1.1.10. 67109120	DisplayString	物理エンティティのベンダー固有のソフトウェアリビジョン文字列。 。
entPhysicalSerialNum	1.3.6.1.2.1.4 7.1.1.1.1.11. 67109120	DisplayString	物理エンティティの仕入先固有のシリアル番号文字列。 。
entPhysicalMfgName	1.3.6.1.2.1.4 7.1.1.1.1.12. 67109120	DisplayString	この物理コンポーネントの製造元の名前。 。
sysUpTime	1.3.6.1.2.1.1. 3.0	Timestamp	sysUpTimeの値
rlCpuUtilDuringLastSecond	1.3.6.1.4.1.9. 6.1.101.1.7.0	0 ~ 100	最後の1秒間のデバイスのCPU使用率。 。
rlCpuUtilDuringLastMinute	1.3.6.1.4.1.9. 6.1.101.1.8.0	0 ~ 100	最後の1分間のデバイスのCPU使用率。 。
rlCpuUtilDuringLast5分	1.3.6.1.4.1.9. 6.1.101.1.9.0	0 ~ 100	過去5分間のデバイスのCPU使用率。

rIPhdUnitEnv ParamTemp SensorValue	1.3.6.1.4.1.9. 6.1.101.53.1 5.1.10.1	エンティティ センサー値	計測されるセ ンサーの電流 値です。
rIPhdUnitEnv ParamFan1S tatus	1.3.6.1.4.1.9. 6.1.101.53.1 5.1.4.1	1 – 通常、2 – 警告 3 – 重大、4 – シャットダウ ン 5 – 存在しない、 6 – 機能しない	FAN1が計装 中の状態であ る。
rIPhdUnitEnv ParamFan2S tatus	1.3.6.1.4.1.9. 6.1.101.53.1 5.1.5.1	1 – 通常、2 – 警告 3 – 重大、4 – シャットダウ ン 5 – 存在しない、 6 – 機能しない	FAN2の装着 状態は必須で ある。
rIPhdUnitEnv ParamFan3S tatus	1.3.6.1.4.1.9. 6.1.101.53.1 5.1.6.1	1 – 通常、2 – 警告 3 – 重大、4 – シャットダウ ン 5 – 存在しない、 6 –	FAN3が計装 中の必須状態 。

		機能しない	
riPhdUnitEnv ParamFan4S tatus	1.3.6.1.4.1.9. 6.1.101.53.1 5.1.7.1	1 – 通常、2 – 警告 3 – 重大、4 – シャットダウ ン 5 – 存在しない、 6 – 機能しない	FAN4が計装 中の必須状態 。
riPhdUnitEnv ParamFan5S tatus	1.3.6.1.4.1.9. 6.1.101.53.1 5.1.8.1	1 – 通常、2 – 警告 3 – 重大、4 – シャットダウ ン 5 – 存在しない、 6 – 機能しない	FAN5の装着 状態は必須で ある。

コマンド

SNMPのgetコマンドは次のとおりです。

```
Snmpget -v 3 -u USERNAME -a AUTH-METHOD -A "AUTH-PASSWORD" -x PRIVACY-METHOD -X "PRIV-PASSWORD" -I authPriv SWITCH-IP-ADDRESS
```

例

SNMP getコマンドの例を次に示します。

```
snmpget -v 3 -u exampleu -a SHA -A "cisco123" -x AES -X "cisco321" -l authPriv 192.168.89.144 \  
1.3.6.1.2.1.1.1.0 \  
1.3.6.1.2.1.47.1.1.1.1.10.67109120 \  
1.3.6.1.2.1.47.1.1.1.1.11.67109120 \  
1.3.6.1.2.1.47.1.1.1.1.12.67109120 \  
1.3.6.1.2.1.1.3.0 \  
1.3.6.1.4.1.9.6.1.101.1.7.0 \  
1.3.6.1.4.1.9.6.1.101.1.8.0 \  
1.3.6.1.4.1.9.6.1.101.1.9.0 \  
1.3.6.1.4.1.9.6.1.101.53.15.1.10.1 \  
1.3.6.1.4.1.9.6.1.101.53.15.1.4.1 \  
1.3.6.1.4.1.9.6.1.101.53.15.1.5.1 \  
1.3.6.1.4.1.9.6.1.101.53.15.1.6.1 \  
1.3.6.1.4.1.9.6.1.101.53.15.1.7.1 \  
1.3.6.1.4.1.9.6.1.101.53.15.1.8.1 \  

```

結果

CBS350-16XTSの文字列の戻り値を次に示します。ファームウェアのバージョン、シリアル番号、製造元、システムの稼働時間、最後の1秒間のCPU使用率、最後の1分間、最後の5分間、現在の温度、およびファンのステータスが一覧表示されます。このCBS350モデルには、正常な状態を示す3つのファンがあります。ファン4と5は存在しません。

```
SNMPv2-MIB::sysDescr.0 = STRING: CBS350-16XTS 16-Port 10G Stackable Managed Switch  
SNMPv2-SMI::mib-2.47.1.1.1.1.10.67109120 = STRING: "3.3.0.16"  
SNMPv2-SMI::mib-2.47.1.1.1.1.11.67109120 = STRING: "DNI2511010K"  
SNMPv2-SMI::mib-2.47.1.1.1.1.12.67109120 = STRING: "Cisco"  
DISMAN-EVENT-MIB::sysUpTimeInstance = Timeticks: (1359200) 3:46:32.00  
SNMPv2-SMI::enterprises.9.6.1.101.1.7.0 = INTEGER: 1  
SNMPv2-SMI::enterprises.9.6.1.101.1.8.0 = INTEGER: 1  
SNMPv2-SMI::enterprises.9.6.1.101.1.9.0 = INTEGER: 2  
SNMPv2-SMI::enterprises.9.6.1.101.53.15.1.10.1 = INTEGER: 57  
SNMPv2-SMI::enterprises.9.6.1.101.53.15.1.4.1 = INTEGER: 1  
SNMPv2-SMI::enterprises.9.6.1.101.53.15.1.5.1 = INTEGER: 1  
SNMPv2-SMI::enterprises.9.6.1.101.53.15.1.6.1 = INTEGER: 1  
SNMPv2-SMI::enterprises.9.6.1.101.53.15.1.7.1 = INTEGER: 5  
SNMPv2-SMI::enterprises.9.6.1.101.53.15.1.8.1 = INTEGER: 5  

```

結論

これで、CBS350スイッチの一般的なSNMPv3 OIDの一部が判明しました。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。